（逓信省認可）　（本紙　六面）　明治二十二年三月廿八日　（紙價二錢）

時事新報

時事新報は一年三百六十五日一日も休刊なし

時事新報定價
時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價送料廣告料ハ左ノ如シ
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓
〇一箇年前金六圓
〇時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ送致スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

五號活字ニテ一行廿四字詰	一行ニ付一日限	一行ニ付二日以上六日迄	一行ニ付七日以上十五日迄	一行ニ付十六日以上
自一行至十行	十錢	八錢	七錢	六錢八厘
自十一行至廿行	九錢	七錢	六錢	五錢九厘五毛
三十一行以上	八錢	六錢五厘	五錢八厘五毛	五錢五厘

第二千二百四十二號
明治廿二年三月廿八日　木曜日
舊暦巳丑二月廿七日　（癸卯）
日出午前五時三十五分　日入午後五時十八分
月出午前三時三十三分　月入午前二時十七分
滿潮午後二時二十三分　干潮午後八時零五分
（西暦一千八百八十九年）

時事新報

實業社會

内治の整頓も國權の伸張も富の源あければ云ふべくして行はる可らず因果の區別分明ふして疑ふなき道理なれども世間往々容易に之を看過して議政の方法は云々、兵備の趣向は悉皆〳〵とて妙案奇畝交々顯はれ其妙奇を揑造して樂とあすもあれば之を以て衣食の便ふ供するもあり天下の風潮は沼々として無形の議論に走り恰も議論熱の流行を來たせしは我國近年來の事實ふして識者の常に惜む所ありしが過般は又憲法の發布ありて國會の運命も漸く定まりしとあれば今後は政黨の組織ふ付政治家の東西に奔走して頻に遊説を試むるに連れ政事に意ある者も意ある者も相共に動搖して何々の會同ふ周旋する等其繁忙なると日も亦足らざるの感あるべし又議員の撰擧に當撰を競爭し甲乙ともふ種々の計略を運らす其間には撰擧の資格ある人々は共ふ〳〵競爭の中ふ捲込まれて思はざる煩累を招き時としては曝らず〳〵政治家の氣風を氣取りて家計ふ疾難を來たすこともわらん當人の爲めに氣の毒あるのみか國の全體に取りても好ましからざる次第ふして現ふ今日までの實例ふ於ても政熱の狂炎は熾なく實業世界を麻痺して傍より見るふ堪へざるの趣を呈したるみと屢々ありれば此後の景況みそ誠ふ思遣らるゝ計りふして政海の景氣ふは光彩を添ふべしと雖も一たび思を轉じて富國の實を求むるときは我輩は前途の爲め甚ざ顧慮しからざるを覺ゆるものあり若しも此爭の紹々たる政談が實業社會ふ流行の薬なり凡そ殖産興業の講談に一變するを得るとならんふは如何ふ目出度とどもならんとて常ふ想像を逞くする所なれども想像は則ち空ふして先進も後進も一ふ無形の議論に走るを以て恰も盛世の名譽と心得るが如きは亦是非もなき事と云ふべし

右は我輩の申す迄もなく新聞紙を閲讀するもの〳〵皆とも能く知る所なり思ふふ天下の識者此狂瀾を挽回せんとする共人なきに非ざるべしと雖も今日の處にて倩々世上を見渡せば各地方に設けある商業の組合みそ正ふ此任に當るべき者おらんと稱に信ずる所なり並び其組合の性質組織等ふ就ては我輩悉く感服するを得ず自から別ふ說ありと雖も是は局部の論ふして廣く實業會ふ關ふ所以にわらず更ふも角ふも實業上の合合とあるからふは此名を組織する者は皆即ち身實業家ふして自家の利益を圖ると共に全國の殷富を生出する者ならん即ち我國實業の運命を維持する根本ふして將來ます〳〵其隆盛を効すの責に任ずる者なり組合組織の目的も亦ふれに外おかるべし左ればこそ各地方相通して東京ふ中央部を設るあり數州相合して聯合會議を開くあり種々の會議の類ふ至るまで著るしき効驗を見ざりしこそ遺憾ふは政府の干渉その他種々の事情もあらんふれ是れには政府の開く所を以てすれば一は世間一般議論なれども我輩の開く所を以てすれば一は世間一般議論熱の盛なるに伴ひ其餘勢を實業社會に及ぼし實業の會議をして往々空論ふ奔逸せしむるものあるが爲めありと云ふ蓋し從來日本の欠點として辨論ふ長ずる者は實際に疎く實際に深き者は辨論に拙あるの傾あるより今何々業の大會議を開かんとして其地方より代議士を撰出するに當りては宜しく實際に深き者を撰定すべき管なれども固是れ議論の場所なれば辨論みそ大事なれとて甚だ辨論に重きを置き實際の事をば第二となすの有樣あると共に又其撰まれたる代議士も本來實地に明かなるにも非ず唯雄辨を振ふて撰擧者ふ負望の恩ふ答へんとするが故ふ自から議席の賑々しからんふとに心を用ひて遂に無益の談を以て始終する者多しといふ果して此の如くならば誠に歎息に堪りありと云ふべし我聖は曾て世人が國會を以て恰も萬能の府と認め内治の整頓も國權の擴張も租税の輕減も産業の振起も皆ふれ支へて國富の源を開くものは唯實業家の一類のみなれば其會議に當りては前途の利害を計較し實際の打合はせもあるべき管なるに些々たる規則の字義を論ずる抔は又課詐一の政治上の議論を始めたる諸君ふ於ても亦漸く實業會議を開設するに至れり其結果ふして如何なるべきや

（未完）

官報

敕令

敕令第四十一號
衆議院議員撰擧法及貴族院令ふ於ふ違犯制裁ふ關スル件ヲ裁可シ茲ふ之ヲ公布セシム
御名御璽
明治廿二年三月廿六日
内閣總理大臣伯爵黒田清隆
内務大臣伯爵松方正義

詔勅

○内閣官制ヲ定ム
明治廿二年二月廿六日
御名御璽
内閣總理大臣伯爵黒田清隆

内閣

○内閣官制
第一條　内閣ハ内閣總理大臣及各大臣ヲ以テ之ヲ組織ス
第二條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ首班ニシテ各大臣ノ奏請ニ依リ親任ス
第三條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ上ニ位シ各大臣ヲ指揮監督ス
第四條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ事務ヲ統理シ其ノ命ヲ承ケテ各大臣ノ奏請ニ依リ勅令ヲ以テ各大臣ノ分任ヲ定ム
第五條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ事務ヲ監督シ其ノ閣議ヲ經タル事項ヲ奏上シ裁可ヲ經ル
第六條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ事務ヲ監督スル爲メ又ハ閣議ヲ經タル事項ヲ奏上スル爲メ各大臣ノ官邸ニ臨ムコトヲ得
第七條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル法律勅令ニ副署ス
第八條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル文書ニ副署ス
第九條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第十條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第十一條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第十二條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第十三條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第十四條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第十五條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第十六條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第十七條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第十八條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第十九條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第二十條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第二十一條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第二十二條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第二十三條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第二十四條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第二十五條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第二十六條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第二十七條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第二十八條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第二十九條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第三十條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第三十一條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第三十二條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第三十三條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第三十四條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第三十五條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第三十六條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第三十七條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第三十八條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第三十九條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第四十條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第四十一條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第四十二條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第四十三條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第四十四條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第四十五條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第四十六條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第四十七條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第四十八條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第四十九條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第五十條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第五十一條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第五十二條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第五十三條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第五十四條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第五十五條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第五十六條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第五十七條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第五十八條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第五十九條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第六十條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第六十一條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第六十二條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第六十三條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第六十四條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第六十五條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第六十六條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第六十七條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第六十八條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第六十九條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第七十條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第七十一條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第七十二條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第七十三條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第七十四條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第七十五條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第七十六條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第七十七條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第七十八條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第七十九條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第八十條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第八十一條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第八十二條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第八十三條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第八十四條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第八十五條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第八十六條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第八十七條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第八十八條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第八十九條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第九十條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第九十一條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第九十二條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第九十三條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第九十四條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第九十五條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第九十六條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第九十七條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第九十八條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第九十九條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス
第百條　内閣總理大臣ハ各大臣ノ奏上ニ係ル官吏ノ進退ニ關シ其ノ意見ヲ具ス

内務省令

○内務省令第三號
藥劑師試驗規則左ノ通之ヲ定ム
明治廿二年三月廿七日
内閣總理大臣伯爵黒田清隆
内務大臣伯爵松方正義

藥劑師試驗規則

第一條　藥劑師メラントスル者ハ此規則ニ據リ試驗ヲ受クヘシ○第二條　藥劑師試驗ハ内務大臣ニ於テ毎年二回試驗主事者及ヒ試驗委員ヲ撰任シテ擧行スヘシ其擧行ノ地及ヒ試驗期日ハ六箇月前之ヲ告示スヘシ○第三條　試驗科目ヲ定ムルコト左ノ如シ

學說
第一　物理學　第二　化學
第三　植物學　第四　生藥學
第五　製藥化學

實地
第一　分析術　第二　藥品鑑定
第三　藥物製煉　第四　調劑術

第四條　試驗ヲ受ケントスル者ハ其願書ヲ試驗期日三箇月前ニ内務省宛ニテ地方廳ニ差出スヘシ地方廳ハ試驗期日一箇月前ニ之ヲ取纏メ内務省ニ進達スヘシ○第五條　試驗ハ及第シタル者ニハ試驗主事者ヨリ試驗委員ト連署シタル及第證書ヲ與フヘシ○第六條　受驗者ハ試驗開場ノ前日迄ニ手數料金五圓ヲ試驗主事者ニ納ムヘシ○第七條　受驗上不都合ノ所爲アル者ハ主事者ヨリ退場ヲ命スルコトアルヘシ○第八條　受驗中疾病其他ノ事故アリテ試驗ヲ完了セサル者及ヒ落第シタル者又ハ退場ヲ命シタル者ニハ手數料ヲ返付セス○第九條　此規則ハ明治二十三年三月一日ヨリ施行ス

○内務省令第四號
藥品巡視規則左ノ通之ヲ定メ明治二十三年三月一日ヨリ施行ス
明治廿二年三月廿七日
内務大臣伯爵松方正義

藥品巡視規則

第一條　衛生官吏警察官吏及ヒ藥劑師ヲ以テ監視員トシ藥局及ヒ藥品ヲ販賣又ハ製造スル場所ヲ巡視セシムヘシ○第二條　監視員藥局ヲ巡視スルトキハ左ノ各項ヲ檢査スヘシ」一　藥品」二　藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項」三　醫制錄○第三條　監視員藥品ヲ販賣又ハ製造スル場所ヲ巡視スルトキハ左ノ各項ヲ檢査スヘシ」一　藥品」二　藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項」三　醫制錄○第四條　監視員藥品ヲ販賣又ハ製造スル場所ニ臨ミ藥品ヲ檢査シ藥品ニ付キ藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項ヲ檢査スヘシ○第五條　監視員藥品ヲ檢査シ藥品ニ付キ藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項ヲ檢査スヘシ○第六條　監視員藥品ヲ檢査シ藥品ニ付キ藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項ヲ檢査スヘシ○第七條　監視員藥品ヲ檢査シ藥品ニ付キ藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項ヲ檢査スヘシ○第八條　監視員藥品ヲ檢査シ藥品ニ付キ藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項ヲ檢査スヘシ○第九條　監視員藥品ヲ檢査シ藥品ニ付キ藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項ヲ檢査スヘシ○第十條　監視員藥品ヲ檢査シ藥品ニ付キ藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項ヲ檢査スヘシ○第十一條　監視員藥品ヲ檢査シ藥品ニ付キ藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項ヲ檢査スヘシ○第十二條　監視員藥品ヲ檢査シ藥品ニ付キ藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項ヲ檢査スヘシ○第十三條　監視員藥品ヲ檢査シ藥品ニ付キ藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項ヲ檢査スヘシ○第十四條　監視員藥品ヲ檢査シ藥品ニ付キ藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項ヲ檢査スヘシ○第十五條　監視員藥品ヲ檢査シ藥品ニ付キ藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項ヲ檢査スヘシ○第十六條　監視員藥品ヲ檢査シ藥品ニ付キ藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項ヲ檢査スヘシ○第十七條　監視員藥品ヲ檢査シ藥品ニ付キ藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項ヲ檢査スヘシ○第十八條　監視員藥品ヲ檢査シ藥品ニ付キ藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項ヲ檢査スヘシ○第十九條　監視員藥品ヲ檢査シ藥品ニ付キ藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項ヲ檢査スヘシ○第二十條　監視員藥品ヲ檢査シ藥品ニ付キ藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項ヲ檢査スヘシ○第二十一條　監視員藥品ヲ檢査シ藥品ニ付キ藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項ヲ檢査スヘシ○第二十二條　監視員藥品ヲ檢査シ藥品ニ付キ藥品營業竝藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項ヲ檢査スヘシ

○民野屋敷
小石川區小日向水道町の地を開きたりて或は…

○政府紙幣
政府紙幣ハ…

○銀行紙幣
銀行紙幣ハ…